

令和4年産主食用米・非主食用米の「県域の生産目安(確定値)」

国や県の需要動向等を参考に令和4年産の「主食用米・非主食用米の生産量・面積(生産の目安(確定値))」を算定しました。

	主食用米	加工用米	飼料用米	米粉用米	WCS用稲	その他	水稻計
生産量	113,000t	1,934t	3,416t	774t	-t	195t	119,319t
面積換算値	21,401ha	366ha	647ha	147ha	641ha	37ha	23,239ha

令和4年産の推進の方向

《主食用米》

コロナ禍の急激な消費減退による民間在庫量の増加に伴い、米価が下落傾向にある中、県外産米の流入により、県産米需要の一部が県外産に置き換わりつつあります。地産地消を中心とした県産米需要に着実に応えるためにも、販売先のニーズを把握し、需要に応じた生産を行うことがますます重要になっています。

主食用米の需要に応じた生産を継続し、主食・非主食用米の組み合わせにより、今後変化する需要に柔軟に対応できるよう水稻の生産基盤を維持しましょう！

R4広島県主食用米生産の目安(試算値)	R3作付面積	差
21,401ha	21,700ha	▲299ha(▲1.4%)

県産米主食用米作付面積は毎年約420haずつ減少しています。(直近の7中5平均)

	主食用米	非主食用米
R3 作付面積	21,700ha	1,511ha
R4 県生産目安(試算値)	21,401ha	1,838ha

《非主食用米》

加工用米やWCS用稲の需要は微増。飼料用米は需要拡大。需要に基づいた生産に取り組むことが重要です。

用途	R3作付実績	R4生産計画	必要増減	主な取組地域	取組の内容等
加工用米	320ha	366ha	+46ha	北広島, 安芸高田, 庄原, 三次, 三原, 世羅地域	・冷凍米飯向け及び酒造用かけ米の需要を中心に微増(+46ha)
WCS用稲	585ha	641ha	+56ha	庄原, 北広島, 三原, 三次, 神石高原, 東広島地域	・混合飼料需要の拡大(+56ha)
飼料用米	424ha	647ha	+223ha	北広島, 三原, 庄原, 三次, 東広島, 世羅地域	・県内事業者の需要に応じ拡大(+223ha)